

全国和牛能力共進会に本町の肥育牛2頭が出品

## 鹿児島県の団体賞受賞に貢献

日本一優秀な和牛を決める第11回全国和牛能力共進会（全共）が9月7日から11日まで宮城県仙台市で開催されました。

全共は、5年に一度、各都道府県持ち回りで開催される和牛の品評会で、全国のブランド牛を一堂に集めてその優秀性を競います。今大会には、39道府県から過去最高の527頭が出品され、大会来場者数は5日間で41万7千人（速報値）に上りました。

今大会に長島町からは第7区総合評価群（肉牛群）に鋤崎徹さん（母良木）の「大輝号」が、第9区去勢肥育牛に中山正美さん（犬鹿倉）の「金吉実号」の2頭が県予選を勝ち抜き鹿児島県代表として出品され、鋤崎さんの「大輝号」はA等級5・BMS No. 11、中山さんの「金吉実号」はA等級5・BMS No. 12の成績を収め本県の団体賞受賞に貢献しました。

鹿児島黒牛として、本県からは、種牛に22頭、肉牛として8頭が代表牛として出品。9部門のうち4部門で1位を受賞し、出品した全ての牛が上位6位に入賞し、栄えある団体賞（総合優勝）を勝ち取りました。

10年前に団体賞が設けられて以来の悲願達成となった今大会。5年後の2022年に鹿児島県霧島市で開催される第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会成功へ大きな一歩を踏み出しました。



↑鋤崎さんの「大輝号」



↑中山さんの「金吉実号」

さつま島美人×長島大陸スペシャルマッチ

## 鹿児島ユナイテッドFCを応援

9月9日、県立鴨池陸上競技場（鹿児島市）で「2017明治安田生命J3リーグ第22節『鹿児島ユナイテッドFC対栃木SC』戦」が行われました。

今回の試合は、鹿児島ユナイテッドFCとオフィシャルトップパートナー契約を締結している長島研醸有限公司と長島大陸の特別協賛で行われ、長島町民は入場料無料で試合を観戦することができました。

会場周辺では、「さつま島美人」のふるまい酒や、長島大陸市場のキッチンカー「ブリうま食堂」のブリカツバーガー、町商工会青年部の「長島ど〜ん鯽」の販売のほか、10月14日から開催される第17回ながしま造形美術展や、長島大陸食べる通信のPRが行われ、多くの来場者に長島町をPRしました。

試合は、東町漁業協同組合の長元信男組合長の始球式でキックオフ。長島町民入場無料の効果もあり、同チームの前節ホームゲームの観客動員数を約1200人も上回る3818人を記録し、多くの観客が鹿児島ユナイテッドFCを応援しました。



↑キッチンカー「ブリうま食堂」も出店



↑会場内で行われた「島美人」のふるまい酒  
((C) KAGOSHIMA UNITED FC)